

平成 27 年 10 月 16 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社  
代表取締役 CEO 山本 正卓  
(コード番号: 2411)  
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一  
TEL 03-5308-9888(代表)

## 平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、平成 27 年 4 月 17 日付「平成 27 年 3 月期決算短信 [日本基準] (連結)」にて発表いたしました平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 27 年 4 月 17 日発表)	16,700	1,220	1,220	810	51.59
今回修正予想 (B)	16,000	1,000	1,000	650	41.40
増減額 (B - A)	△700	△220	△220	△160	
増減率 (%)	△4.2	△18.0	△18.0	△19.8	
(参考) 前年同期 (平成 27 年 3 月期) 実績	17,284	1,300	1,345	805	51.08

#### (修正の理由)

売上高については、主としてパチンコホール広告売上高の減少により、前回発表予想比で△700 百万円減少する見込みであります。

当第 2 四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場においては、昨年来の消費税増税等の影響等に起因するパチンコホールの収益性悪化により、コストダウンの圧力がより強まった結果、経常的な広告需要は当初予想以上に減少しました。また、新規出店告知需要等の特需案件についても、件数の減少や、案件当たり予算の減少が進んだことから、比較的低調に推移しました。

また、当下期においては、パチンコホールに新規設置される遊技機の性能変更等、パチンコホールの収益性に影響を与える可能性の高い不確定要素が存在していることから、広告需要についても、当面は当初予想以上に低調に推移するものと見込まれます。よって、今回、業績予想値を再集計し、修正するものであります。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、主として広告事業における、パチンコホール広告売上高の減少に伴う、マージンの減少により、それぞれ前回発表予想比で減少する見込みであります。

なお、当社では、配当の基本方針として、連結配当性向 50%を目安としておりますが、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上